

回覧				
----	--	--	--	--

好評再演

最新の実務で問題となっている 「現代型」労務問題に関する留意点と対応策

講師 かたやま まさや **片山雅也** 氏 弁護士法人アヴァンセリーガルグループ 執行役員 弁護士

日時 平成25年8月21日(水) 午後1時00分～午後5時00分

現代の企業労務においてご相談が多い労務問題をまとめました。いずれの問題についても、基本的な事項の説明を行った上、裁判例・判例等を通じた実務的な対応策を示していきます。書式例が必要な対応策については、書式例とともに具体的な解説を行い、理論面のみならず実務に即したセミナーを行います。

なお、今回の再演では、「65歳全員雇用時代の実務」(労働調査会)を執筆した講師が、改正高年法施行後に生じやすい疑問点への対応策もあわせて説明いたします。

1. うつ病等メンタルヘルスに関する法務対応

- ・メンタルヘルス不調者への対応を間違った企業の法務リスク
- ・メンタルヘルス不調を主張してきた従業員に対する初期対応
- ・メンタルヘルス不調者に対する退職勧奨、解雇の有効性
- ・メンタルヘルス不調者に対応できる休職規定の整備内容
- ・休職後のリハビリり出社に伴うリスクとリハビリり出社規定の整備内容

2. 残業代に関する法務対応

- ・早朝出勤・持ち帰り仕事は残業か?～実労働時間の概念～
- ・事業場外労働・裁量労働などみなし労働時間制の正確な理解
- ・手当で残業代をカバーできるのか?～固定残業代の正確な理解～
- ・安易に管理監督者扱いすることのリスクと対応策
- ・もし未払残業代請求を申し立てられたら～労働審判の流れ～

3. 長時間労働・自殺と労災・企業側の責任

- ・長時間労働等による脳・心臓疾患と企業側の責任
- ・メンタルヘルス不調者の自殺と企業側の責任
- ・裁判例を通じた長時間労働・自殺による企業側・役員個人のリスク

4. 降格・降級・解雇に関する法務対応

- ・職能資格制度・職務等級制度における降格・降級の有効性
- ・勤務態度が不良な従業員・ローパフォーマーに対する解雇の有効性
- ・整理解雇の正確な理解とその有効性

5. 改正高年法施行後に生じやすい疑問点と対応策

- ・改正高年法の概要
- ・対象者限定基準を定めた労使協定を変更することの可否
- ・定年到達時に私傷病休職中の者について再雇用拒否できるか否か
- ・経過措置に対応した就業規則及び労使協定例
- ・継続雇用を希望しなかった者が後に希望した場合に拒めるか否か
- ・再雇用した後の労働条件の内容について
- ・再雇用後の年休の勤続年数は通算する必要があるか否か

6. 現代型労務問題に対応する就業規則整備

- ・パワーハラスメント対応規定の整備
- ・インターネット・スマホ等社内ITへの対応規定の整備
- ・反社会的勢力への対応規定の整備
- ・競業禁止への対応規定の整備

【講師紹介】立命館大学政策科学部卒。2004年旧司法試験合格。東京弁護士会所属。使用者側労働審判、労働訴訟、不動産関連訴訟、会社法関連訴訟といった訴訟案件、反社会的勢力に対する各種仮処分や強制執行案件 M&A の法務 DD や会社組織再編の策定案件等、企業側の紛争法務及び予防法務に従事する。近著に「65歳全員雇用時代の実務」、「トラブル防止のための就業規則」、「職場のパワハラ傾向と対策」、「経営者の皆さん! その悩みお手伝いします」、定期刊行物・先見労務管理における「特集改正高年法 Q&A」、「ズバリ! 改正高年法 Q&A」(いずれも労働調査会)がある。

※録音・ビデオ撮影はご遠慮下さい。

■主催 経営調査研究会

■後援 金融財務研究会

http://www.kinyu.co.jp

Facebook : <http://www.facebook.com/keichoken>

Twitter : <https://twitter.com/#!/keichoken>

Blog : <http://keichoken.blogspot.com/>

